岡山の桃

岡山県の桃は、明治８（1875）年に中国から「天津水蜜」「上海水蜜」が導入されたことをきっかけに本格的な栽培が始まりました。明治 32（1899）年、日本で食べられているたくさんの桃の元祖ともいえる「白桃」という品種が発見され、香り高く、甘くてきめ細やかな口あたりの「白桃」は岡山の名産になりました。岡山の桃の代表格である「清水白桃」も、「白桃」から誕生した品種です。

岡山の桃の一番の特長は、上品な白さ。一つ一つ手作業で袋を掛け、収穫の段階まで太陽の光を直接当てないことにより、透き通るように白く、なめらかな口あたりの桃に仕上がります。

１　データ（令和４（2022）年産）

（１）生産状況（農林水産省作物統計調査）

作付面積：　668ha（全国６位）　※清水白桃の作付面積は 225ha で全国１位

生 産 量：6,580ｔ（全国６位）

（２）県内の主産地（県農産課調べ）

岡山市（190ha）、倉敷市（163ha）、赤磐市（113ha）

（３）全国の主産県

山梨県（3,340ha）、福島県（1,760ha）、長野県（948ha）、和歌山県（713ha）

２　特記事項

（１）桃は岡山県を代表する果物の一つであり、ももの花は「県の花」である。

（２）「清水白桃」は、昭和７（1932）年に岡山市北区芳賀の清水地区で発見された品種であり、令和４（2022）年に生誕 90 年を迎える。

（３）「岡山白桃」は、平成 19（2007）年２月に認定された地域団体商標で、岡山県内で袋掛け栽培により生産され、果皮を白く仕上げた複数の白桃を包含する愛称である。

（４）県では、オリジナル品種の育成等により「岡山白桃」のシリーズ化を図っている。

３　主な品種の出荷時期の目安

品種名	６中	６下	７上	７中	７下	８上	８中	８下	９上	９中
はなよめ										
日川白鳳										
加納岩白桃										
白鳳										
清水白桃										
おかやま夢白桃										
白麗										
白皇®										
白露®										